



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年5月29日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

## 置き去りの民間人 旧ソ連での悲劇

29日(日)=1、3面

迫る



第二次世界大戦後、軍人ら約60万人が強制労働を強いられた「シベリア抑留」はよく知られていますが、旧ソ連当局に捕らえられ、収容所などに送られた民間人がいました。出所後も帰国を許されなかったケースもありました。彼らは、日本か

ら遠く離れ、言葉も通じない異国の地で過酷な人生を送ったのです。その実態は「置き去り」というものでした。政府が把握している旧ソ連での残留民間人の資料は少なく、海外からの日本人引き揚げを調べている研究者は、戦後史の中で忘れられ

ている存在だと指摘します。戦後史を取材し続けている記者が札幌郊外の墓地=写真=を訪ねたり、残留民間人の家族に会ったりして証言を積み重ね、埋もれたままの戦後の悲劇に迫ります。

## 英国女王の歩んだ70年

30(月)、31日(火)=外電面

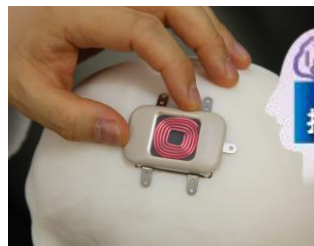
英国のエリザベス女王(96)が今年、即位70年を迎え、記念行事「プラチナ・ジュビリー」が6月2～5日、ロンドンを中心に開催されます。25歳だった1952年に即位して以降、

王室の危機などの波乱に見舞われながら、歩んできた女王。その人生は英国の戦後史を体現しています。在位70年間を振り返りながら、英王室と政治や国民との関係などを探ります。



女王が1面を飾る英国の各紙

埋め込み型BMIの脳波計



拡張する脳  
Machine x Brain

念じるだけで操作 現実に

念じるだけで、機器を操作したり文字入力したりする。SFの世界で語られていた技術が、一気に実用化しようとしています。このように脳と機械をつないで機能的に連動させる技

術は「ブレイン・マシン・インターフェース」(BMI)と呼ばれています。新連載「拡張する脳」の第1部では、BMIが医療に 응용され始めている現状を報告します。

30(月) 1、3面

## 特集ワイド 風刺？ 予言？ 小説に重なる侵攻

6月1日(水)=夕刊特集ワイド面

ロシア人作家ウラジミール・ソローキン氏が2000年代以降に書いた近未来小説がウクライナ侵攻で注目を集めています。帝政の復活、西欧からの孤立、言論弾圧などがテーマになっていることから、侵攻と重ね合わ

せて読まれているそうです。ソローキン氏の小説は現代政治への「風刺」なのか、それともプーチン大統領の暴挙を言い当てた「予言」なのか。小説の翻訳を多数手がける岩手大の松下隆志准教授に聞きました。



ソローキン氏=松下さん提供

新毎日

毎日小学生新聞は6月5日午前10時半から、オンラインイベント「毎小withウキッ」をウキッで実施します。ロシアの軍事侵攻は、シベリアに開きます。ロシアの発祥地は、ウラル山の南にあり、ウラル山の北には、シベリアのロシア領があります。ロシアの領土は、ウラル山の南にあり、ウラル山の北には、シベリアのロシア領があります。ロシアの領土は、ウラル山の南にあり、ウラル山の北には、シベリアのロシア領があります。

竹橋の窓辺から

編集後記

